

潤一郎時代絵巻

—戦国の焔 王朝の夢—

谷崎文学と歴史のかかわりがもっとよく分かる講座やイベントを開催します。
申し込みは当館へ。

関連イベント

銭瘦鐵筆「潺湲亭」扁額



現地講座「谷崎の愛した京の豪邸」

谷崎が戦後暮らし、「潤一郎新訳源氏物語」「少将滋幹の母」などを書いた非公開の邸宅「潺湲亭」を訪ねます。下鴨神社の隣に位置する築100年の名建築を解説付きで散策し、「下鴨茶寮」で京料理の昼食を楽しみます。

日時：5月11日(金)、5月23日(水)、6月1日(金)

いずれも午前10時20分または11時20分

京阪電車出町柳駅前集合

定員：各日24人(申し込み順)。

料金：8,000円(食事代含む。交通費は自己負担)。



写真上：「潺湲亭」庭から母屋を望む
下左：「下鴨茶寮」の献立から 下右：「潺湲亭」書斎

田辺真人・園田学園女子大学名誉教授講演

「史実とフィクションの間」～歴史から見た文学～

小説やテレビドラマなどに描かれた<歴史>は史実をどのように反映しているのか。地域史研究で知られる講師が、谷崎文学にもふれながら虚実の間に分け入ります。

日時：5月27日(日)午後2時～3時30分

場所：市立美術博物館講義室(当館西隣)

定員：80人(予約優先)。

料金：1,000円(当館入館料を含む)。



田辺真人さん
(読売新聞社提供)

参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する大阪よみうり文化センターの個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います。
詳しい内容については同センターのホームページ(<http://www.oybc.co.jp>)をご覧ください。

着物で無料入館Day

3月31日(土)、4月28日(土)、5月26日(土)

会期中の各月最終土曜日に着物で来館された方はどなたでも無料で入館していただけます。

谷崎関係の資料を公開する展示室のほか、四季折々の表情を見せる日本庭園を備えています。展示室で日本的な美の世界にふれ、日本庭園でゆっくりとおくつろぎください。

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)



着物で行こう!
谷崎記念館

芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-15

TEL 0797(23)5852 FAX 0797(38)3244

<http://www.tanizakikan.com>